

災害時医療を考える会

「災害時医療を考える会 Team Esteem」が発足して丸3年が経とうとしています。さまざまな職種の志ある仲間が36名集まって、毎月ディスカッションをしてきました。そこで、この3年の集大成としてシンポジウムを開催することになりました。

ぜひ、ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

齊藤光江



時 平成26年 **3月9日(日)** 13:00 ~ 17:00
場所 順天堂大学 10号館 1F 大カンファレンスルーム
参加費 無料
お申込 メールにてお申込ください。(所属、人数)
hiyamaza@juntendo.ac.jp 山崎博史

ご挨拶 齊藤光江 13:00-13:05
第一部 その時、医療はどう展開されたのか
木田光一 基調講演 その時、医療はどう展開されたのか
被災地;いわき市か 13:05-13:45

第二部 その後の学び「有事の備えは平時から」
<医師の立場から>
柏葉匡寛 岩手医科大学医学部付属病院 外来化学療法室長
被災地;岩手での学び 13:50-14:05

<行政の立場から>
野田佳彦 前総理大臣 14:05-14:35

<薬剤師から>
新井克明 大洗海岸病院 薬剤部 部長
被災地;大洗から、薬の管理システムについて 14:35-14:50

水八寿裕 ふくろうメディカル 中川調剤株式会社 14:50-15:00

小茂田昌代 東京理科大学薬学部 医療安全学研究室
大学薬学部ができること;Academic detailing 15:00-15:10

<メディアの立場から>
岡本峰子 朝日新聞東京本社
朝日のあたる家のコンセプト 15:10-15:20

後藤博史 へるす出版 編集部次長
情報伝達の在り方 15:20-15:30

<医療を支える立場から>
山崎博史 ネットスタイル 代表
在宅医療ネットワークの構築 15:30-15:40

上平泰輔 株式会社 大伸社 常務取締役
企業が行った震災孤児支援 15:40-15:50

菅野直樹 福島赤十字病院 精神保健福祉士 社会福祉士
災害時に於けるソーシャルワーカーの役割 15:50-16:00

第三部 パネル・ディスカッション
産・学・官が、協同で平時から成すべきことの提案 16:00-17:00

この三年間の学び



主催:災害時医療を考える会 TEAM ESTEEM 事務局
<http://esteem311.wordpress.com/>

お問合せ先:順天堂大学 乳腺内分泌研究室内 山崎博史 hiyamaza@juntendo.ac.jp

駐車場はございませんので、電車またはバスでお越しください。